



TimeCardView 7.0 CLI アドミニストレータ ガイド

TimeCardView 7.0 CLI Administrator Guide

初版発行：2009 年 1 月
最終更新：2009 年 1 月 19 日

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。**

**本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。
米国サイト掲載ドキュメントとの差異が生じる場合があるため、
正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。
また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、
弊社担当者にご確認ください。**

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコシステムズおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコシステムズおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコシステムズまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任は一切負わないものとします。

CCDE, CCENT, Cisco Eos, Cisco HealthPresence, the Cisco logo, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco WebEx, DCE, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn and Cisco Store are service marks; and Access Registrar, Aironet, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, iQuick Study, IronPort, the IronPort logo, LightStream, Linksys, MediaTone, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, Network Registrar, PCNow, PIX, PowerPanels, ProConnect, ScriptShare, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, TransPath, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0812R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

TimeCardView 7.0 CLI アドミニストレータ ガイド

© 2009 Cisco Systems, Inc.

All rights reserved.

Copyright © 2009–2010, シスコシステムズ合同会社。

All rights reserved.



CONTENTS

概要	1
この章の構成	1
機能の概要	1
目的	1
従業員のロール	2
上司のロール	2
給与管理者のロール	2
TimeCardView の設定の概要	3
その他のリファレンス	3
Cisco Unity Express 関連マニュアル	3
Cisco IOS 関連マニュアル	4
シスコのテクニカル サポート	4
マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、およびセキュリティ ガイドライン	4
インストール	5
前提条件	5
TimeCardView ソフトウェア アップグレードの種類	6
プラットフォームと Cisco IOS ソフトウェア イメージについて	6
TimeCardView をサポートする Cisco IP Phone	6
ソフトウェア ライセンスおよび工場設定される制限	7
TimeCardView のインストール	7
TimeCardView パッケージ ファイルの Cisco Unity Express へのインストール	8
Intuit QuickBooks における TimeCardView 用の自動ログインの設定	8
Intuit QuickBooks サーバ上の TCVQB-Connector のインストール	8
TimeCardView ライセンスのインストール、アップグレード、またはダウングレード	9
システム設定	11
TimeCardView 全体での有効化と無効化	12
TimeCardView 電話画面インターフェイスの無効化	14
TimeCardView 電話ユーザ インターフェイスの無効化	16
TimeCardView ユーザの有効化	18
この手順に必要なデータ	19
TimeCardView セッションの設定	21

自動セッション ログアウトの設定	23
セッションの表示とクリア	25
給与管理者特権の割り当て	26
この手順に必要なデータ	26
上司の指定と従業員の割り当て	28
この手順に必要なデータ	28
従業員の E ページアドレス設定	31
週の開始曜日の設定	33
就業時間と時間外就業時間の設定	35
従業員ステータスの時間制限	37
データベースのページ スケジュール設定と容量	40
データベース設計に関するガイドライン	40
E メール通知の設定	42
この手順に必要なデータ	42
手動でのデータのページまたはクリア	44
タイムシートの外部 FTP サーバへのコピー	46
バックアップと復元	46
Intuit QuickBooks との統合	49
この章の構成	49
TimeCardView と QuickBooks 間の通信設定	49
QuickBooks との手動同期	51
QuickBooks との同期のスケジュール	52
Index	55



概要

この章の構成

- [機能の概要 \(P.1\)](#)
- [TimeCardView の設定の概要 \(P.3\)](#)
- [その他のリファレンス \(P.3\)](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート \(P.4\)](#)

機能の概要

この項では、TimeCardView 1.0 の機能の概要について説明します。この項は、次の項で構成されています。

- [目的 \(P.1\)](#)
- [従業員のロール \(P.2\)](#)
- [上司のロール \(P.2\)](#)
- [給与管理者のロール \(P.2\)](#)

目的

TimeCardView は、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) または Cisco Unified Communications Manager に接続された、Cisco IP phone 上の勤怠管理システムです (サポートされているモデルの一覧については [P.6](#) の「[TimeCardView をサポートする Cisco IP Phone](#)」を参照してください)。TimeCardView は、自動的に従業員の就業時間を追跡し、上司が従業員の就業状態をリアルタイムに見ることができるようになります。これにより、タイムシートの確認と承認がオンラインで可能になり、また、[Historical Reporting Client](#) を使用することで上司や給与管理者が必要とするレポートを生成し、それらを .csv や .xls ファイル形式にエクスポートすることもできるようになります。

TimeCardView は Intuit QuickBooks など、バックエンドの会計ソフトウェアと連携し、タイムシートの会計システムへのシームレスな転送を可能にすることで人為的ミスをなくします。QuickBooks との統合はオプションです。

TimeCardView と QuickBooks を一緒に使用することで、Cisco Unity Express 管理者が従業員の名前を 1 人ずつシステムに入力する必要もなくなります。従業員データは QuickBooks から Cisco Unity Express システムにインポートしたり、Cisco Unity Express から TimeCardView を経由して QuickBooks にエクスポートしたりできます。

TimeCardView には次のユーザ インターフェイスがあります。

- 従業員および上司用の IP 電話インターフェイス
- 電話ユーザ インターフェイス (TUI) (音声プロンプト)
- 上司、給与管理者、および Cisco Unity Express 管理者向け Web ベースのグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI)
- Cisco Unity Express 管理者用のコマンドライン インターフェイス (CLI)

従業員のロール

就業時間追跡の対象となる者 (これ以降は従業員と呼びます。従業員には上司、給与管理者、Cisco Unity Express 管理者を含みません) は、Cisco IP Phone の Services ボタンを使用して TimeCardView にアクセスします。ログインすると、シフト、休憩、および昼食の開始と終了を登録するためのオプションのメニューが、TimeCardView によって IP 電話インターフェイスに表示されます。従業員も自分の就業時間を確認できます。システムでメールボックスが従業員に設定されている場合は、TimeCardView 電話ユーザ インターフェイスから、従業員のボイスメールボックスに直接アクセスできます。

パスワードのリセットなどのタスクを行う場合、従業員は Web GUI も使用できます。シフト、休憩時間、昼食時間などのアクティビティの終了時に終了時間の記録を忘れた従業員や、給与管理者 (P.2 の「給与管理者のロール」を参照してください) により設定されている最長就業時間を超過した従業員は、上司によりアクセスが再び有効にされるまでロックアウトされます。その従業員の上司は、TimeCardView の電話インターフェイスを使用して、ロックアウトを解除します。

上司のロール

上司は TimeCardView の GUI または電話インターフェイスを使用して、部下の従業員の状態を監視や、ボイス メッセージの送信 (ボイスメールボックスが設定されている場合) および E ページメッセージの送信 (Cisco Unity Express 管理者が E ページアドレスを設定済みの場合) ができます。上司は、GUI を使用して直属の部下のタイムシートを編集したり、IP 電話インターフェイスを使用して直属の部下の状態の編集または上書きを行ったりすることができます。たとえば、シフトの終了を記録し忘れた従業員がシステムによってロックアウトされた場合、その従業員の上司は TimeCardView の電話インターフェイスを使用して従業員のアカウントのロックを解除します。

給与管理者のロール

上司と同様に、給与管理者は TimeCardView の Web GUI を使用して、従業員のタイムシートの確認、変更、および承認を行います。

TimeCardView の Web GUI を使用して、給与管理者はタイムシート データを QuickBooks サーバに転送できます。また QuickBooks との間で TimeCardView ユーザの名前をエクスポートまたはインポートできます。給与管理者と上司は、TimeCardView ユーザを追加および削除できます。給与管理者は、全ユーザのタイムシートの確認と承認が行えます。給与管理者は、1 日あたりの最大標準就業時間、休憩、昼食、シフト時間、1 日あたりの最大時間外就業時間などを設定できます。

TimeCardView の設定の概要

この項では、TimeCardView と Cisco Unity Express の関連性と、TimeCardView の設定にかかわるタスクの概要について説明します。

TimeCardView は、Cisco Unity Express のアドオン パッケージで、サービス モジュール上で共存できます。ユーザを設定するには、Cisco Unity Express ユーザを TimeCardView ユーザとして有効にする必要があるため、Cisco Unity Express のインストールが前提条件となります。TimeCardView ユーザの最大数は、使用しているプラットフォームでサポートされる Cisco Unity Express のユーザの最大数に制限されています。

設定に関係するコマンドはすべて、インストールされている Cisco Unity Express の実行中の設定で表示されます。

TimeCardView の設定機能と管理機能のほとんどすべては、GUI から使用できます。

全体に対して、TimeCardView を有効にした後、それを使用する必要がある個々の従業員、その上司、および給与管理者に対して TimeCardView へのアクセスを有効にします。この時点までは、これら 3 つは（Cisco Unity Express ユーザであることに加えて）すべて単なる TimeCardView ユーザに過ぎません。ここで、それぞれの任に指名されたユーザに上司特権と給与管理者特権を割り当てます。

続く手順では、就業時間などのシステムのパラメータを設定します。オプションとして QuickBooks との統合を設定できます。ここでは、QuickBooks 統合アプリケーションとして TimeCardView を設定するという形を取ります。こうすることで、TimeCardView と QuickBooks の同期を手動で行えます。

設定の最後のタスクには、データベース容量の設定や、データベースのページ スケジュール設定があります。また、必要に応じたデータの手动消去、およびバックアップと復元を行います。

TimeCardView では、タイムシートを外部の FTP サーバにコピーする機能も提供されます。

これらのタスクを完了すると、TimeCardView GUI の実行を開始でき、上司と給与管理者はこれを使用することで Cisco Unity Express コマンドライン インターフェイスを使用せずに職務を遂行できます。操作を容易にするために、GUI の機能の中には CLI でも利用できるものもあります。

その他のリファレンス

Cisco Unity Express 関連マニュアル

関連項目	参照先
Cisco Unity Express	Cisco Unity Express マニュアル (バージョン別)
<i>Cisco Unity Express</i> ソフトウェアの著作権とライセンス (シングル ソース ライセンス通知を含む)	Cisco Unity Express ソフトウェアの著作権とライセンス

Cisco IOS 関連マニュアル

関連項目	参照先
Cisco IOS 設定	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco IOS Debug Command Reference, Release 12.4T • Cisco IOS Voice Command Reference <p>(注) 一般的なボイス設定については、『Cisco IOS Voice Configuration Library, Release 12.4』を参照してください。</p>
Cisco IOS 音声トラブルシューティング情報	Cisco IOS Voice Troubleshooting and Monitoring Guide
Cisco IP テレフォニー	IP Telephony Solution Reference Network Design Guide

シスコのテクニカル サポート

次の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。
<http://www.cisco.com/en/US/support/index.html>

以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。

テクニカル サポートを受ける

ソフトウェアをダウンロードする

セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける
 ツールおよびリソースへアクセスする

Product Alert の受信登録

Field Notice の受信登録

Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索

Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する
 トレーニング リソースへアクセスする

TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する

Japan テクニカル サポート Web サイトでは、Technical Support Web サイト

(<http://www.cisco.com/techsupport>) の、利用頻度の高いドキュメントを日本語で提供しています。

Japan テクニカル サポート Web サイトには、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/jp/go/tac>

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。



インストール

この章では、TimeCardView ソフトウェアのインストールおよびアップグレード用の TimeCardView コマンドライン インターフェイス (CLI) オプションについて説明します。

このマニュアルの以降の章で説明している管理タスクを実行する前に、この章のタスクと手順を使用します。



(注) TimeCardView のインストールまたはアップグレードを行う場合は、このマニュアルを使用します。このマニュアルでは、Cisco ネットワーク モジュール、Cisco ルータ、Cisco Unified Communications Manager、Cisco Unified Communications Manager Express ルータ、または Cisco Unity Express のインストールについては取り上げません。このバージョンの TimeCardView の最新の情報については、リリース ノートを参照してください。

この章は、次の項で構成されています。

- [前提条件 \(P.5\)](#)
- [TimeCardView ソフトウェア アップグレードの種類 \(P.6\)](#)
- [プラットフォームと Cisco IOS ソフトウェア イメージについて \(P.6\)](#)
- [TimeCardView をサポートする Cisco IP Phone \(P.6\)](#)
- [ソフトウェア ライセンスおよび工場設定される制限 \(P.7\)](#)
- [TimeCardView のインストール \(P.7\)](#)
- [TimeCardView ライセンスのインストール、アップグレード、またはダウングレード \(P.9\)](#)

前提条件

TimeCardView は、Cisco Unity Express のアドオン パッケージとして提供されており、サービス モジュール上で共存可能です。ユーザを設定するには、Cisco Unity Express ユーザを TimeCardView ユーザとして有効にする必要があるため、Cisco Unity Express のインストールが前提条件となります。

Cisco Unified CME ルータまたは Cisco Unified Communications Manager サーバに接続されている電話機および内線の設定が完了していることを確認します。設定を完了していない場合は、『[Cisco Unified Communications Manager Administrator Guide](#)』または『[Cisco Unified CME Administrator Guide](#)』の該当するバージョンで手順を参照してください。Cisco Unified CME システムの場合は、この手順で Cisco Unity Express の GUI が使用できます。

TimeCardView ソフトウェア アップグレードの種類

TimeCardView ソフトウェアのアップグレードは、クリーン インストール以外の手順ではできません。利用可能なアップグレード処理および全バージョンのリストについては、『[Release Notes for TimeCardView 7.0](#)』を参照してください。

プラットフォームと Cisco IOS ソフトウェア イメージについて

TimeCardView アプリケーションは、Cisco IOS ソフトウェア コマンドと似た構造の一連のコマンドを使用します。ただし、TimeCardView コマンドは、Cisco IOS の設定には影響を与えません。

サポートされている TimeCardView ソフトウェア イメージおよびハードウェア プラットフォームの詳細については、『[Release Notes for TimeCardView 1.0](#)』を参照してください。

TimeCardView は、次の製品でサポートされています。

- Cisco 1861 サービス統合型ルータ。
- 拡張ネットワーク モジュール (NME-CUE)。NME-CUE は、24 ポートのモジュールで、最大 250 個のボイスメールボックスおよび 300 時間のボイス メッセージを保存します。

TimeCardView をサポートする Cisco IP Phone

TimeCardView は、次のモデルの Cisco Unified IP Phone をサポートします。

表 1 TimeCardView をサポートする Cisco IP Phone

Cisco 7921	
Cisco 7925	
Cisco 7931	
Cisco 7940	TimeCardView と VoiceView Express の統合ログイン ビューはサポートされていません (TimeCardView オプションに加えて Inbox オプション)。
Cisco 7941	
Cisco 7942	
Cisco 7945	
Cisco 7960	TimeCardView と VoiceView Express の統合ログイン ビューはサポートされていません (TimeCardView オプションに加えて Inbox オプション)。
Cisco 7961	
Cisco 7962	
Cisco 7965	
Cisco 7970	
Cisco 7971	

表 1 TimeCardView をサポートする Cisco IP Phone (続き)

Cisco 7975	
Cisco CP500	TimeCardView と VoiceView Express の統合ログイン ビューはサポートされていません (TimeCardView オプションに加えて Inbox オプション)。

ソフトウェア ライセンスおよび工場で設定される制限

TimeCardView を注文すると、TimeCardView ソフトウェアが Cisco Unity Express モジュールにインストールされた状態で工場から出荷されます。予備のモジュールも、ソフトウェアがインストールされた状態で付属します。

アップグレードまたはダウングレードについては、『*Cisco Unity Express Installation and Upgrade Guide*』で関連する項を参照してください。

NME-CUE のシステム制限とライセンス情報、IVR (interactive voice response; 自動音声応答)、および Cisco 1861 については、『*Release Notes for Cisco Unity Express*』を参照してください。TimeCardView のシステム制限とライセンス情報については、『*Release Notes for TimeCardView*』を参照してください。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).

SSL およびその他の Cisco Unity Express ソフトウェアの著作権とライセンスの詳細については、http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/unity_exp/rel7_0/licenses/lic_copy.html を参照してください。

TimeCardView のインストール

TimeCardView を Intuit QuickBooks と統合する場合を除き、本製品のインストールに必要なのは、次の最初の手順だけです。QuickBooks と統合する場合は、2 番目と 3 番目の手順を順に実行する必要があります。

1. [TimeCardView パッケージ ファイルの Cisco Unity Express へのインストール \(P.8\)](#)
2. [Intuit QuickBooks における TimeCardView 用の自動ログインの設定 \(P.8\)](#)
3. [Intuit QuickBooks サーバ上の TCVQB-Connector のインストール \(P.8\)](#)

前提条件

TimeCardView をインストールするための前提条件は次のとおりです。

- シスコのソフトウェア ダウンロード サイトから次のファイルをダウンロードした FTP サーバの URL (厳密なファイル名はリリース ノートを参照してください)。
 - `timecardview.version.pkg` : 統合サービス エンジン (ISE- c1861 のみ) および NME-CUE サービス モジュールでの TimeCardView の主要パッケージ
 - `timecardview.version.prt1` : 統合サービス エンジン (ISE - c1861 のみ) および NME-CUE サービス モジュールで TimeCardView に対応するすべてのデータおよび実行ファイルを含むパッケージ ペイロード

QuickBooks と統合する場合、次のファイルをダウンロードした FTP サーバの URL。

- CUCE-TCVQB-Connector-Installer-version.exe : QuickBooks 会計ソフトウェア接続用 TimeCardView クライアント自己インストールイメージ

TimeCardView パッケージ ファイルの Cisco Unity Express へのインストール

TimeCardView は、Cisco Unity Express オンライン モードでのみインストールまたは削除が行えます。Cisco Unity Express ソフトウェアの完全インストール実行時を除き、ブートヘルパーを使用した追加または削除は行えません。この実行手順については、『*Cisco Unity Express Installation and Upgrade Guide*』のお使いのバージョンを参照してください。

概略手順

1. `config t`
2. `software download server url ftp://server-ip-address[/dir] [username username password password]`
3. `exit`
4. `software install add package-name`

詳細手順

-
- ステップ 1** `config t` を使用して、設定モードを開始します。
- ステップ 2** `software download server url ftp://server-ip-address[/dir][username username password password]` と入力します。各項目の意味は次のとおりです。
- `server-ip-address` は、FTP サーバの URL です。
 - `username` は、FTP サーバで有効なユーザの名前です。
 - `password` は、FTP サーバへのアクセスを許可するためのユーザ名に対するパスワードです。
- ステップ 3** `exit` と入力して、設定モードを終了します。
- ステップ 4** `software install add package-name` と入力します。
-

Intuit QuickBooks における TimeCardView 用の自動ログインの設定

この手順の説明は現在のマニュアルの対象外ですが、QuickBooks サーバ上での TimeCardView 用の自動ログインの設定はこの時点で行う必要があります。この手順については、『TimeCardView GUI Guide』または QuickBooks のマニュアルを参照してください。

Intuit QuickBooks サーバ上の TCVQB-Connector のインストール

TCVQB Connector は、TimeCardView と QuickBooks との間の通信を可能にするユーティリティです。TCVQB Connector を QuickBooks を実行しているサーバにインストールし、TimeCardView と通信するためのパラメータを設定する必要があります。

TCVQB-Connector のインストール時には、QuickBooks が起動および実行されている必要があります。インストール中、インストーラによって次の情報の入力が求められます。

- Cisco Unity Express モジュールの TimeCardView との通信に使用する Connector 用のポート番号
- お使いの QuickBooks の会社ファイルのパスと名前 (C:\¥QBFiles¥acme.QBW など)

デフォルト ポート番号は、57343 です。メモ帳を使用し TCVConfig.ini を編集することで、インストール後にこのポート番号を変更できます。このファイルは、Connector をインストールしたフォルダと同じフォルダにあります。TCVQB-Connector を再起動するまで、行った変更は有効になりません。

TCVQB-Connector のログには、QuickBooks を実行しているマシンの通知領域のアイコンを使用してアクセスします。このログのキーは次のとおりです。

1 : エラー、2 : 警告およびエラー、3 : デバッグ メッセージ、警告、およびエラー

TimeCardView が必要なファイルにアクセスできるように QuickBooks を設定する必要があります。この手順については、『TimeCardView GUI Guide』または QuickBooks のマニュアルを参照してください。

TimeCardView ライセンスのインストール、アップグレード、またはダウングレード

お使いのバージョンの『Cisco Unity Express Installation and Upgrade Guide』に掲載されている「*Upgrading or Downgrading the Cisco Unity Express License in the Same Version*」を参照してください。



システム設定

コマンドライン インターフェイス (CLI) コマンドを利用することで、TimeCardView システムのコンポーネントを設定できます。コマンド入力はすべて Cisco Unity Express 上で行います。EXEC モードで入力するコマンドもあれば、設定モードで入力するコマンド、また TimeCardView サービス設定モードで入力するコマンドもあります。

この章では、次のタスクに関する手順について説明します。

- [TimeCardView 全体での有効化と無効化 \(P.12\)](#)
- [TimeCardView 電話画面インターフェイスの無効化 \(P.14\)](#)
- [TimeCardView 電話ユーザ インターフェイスの無効化 \(P.16\)](#)
- [TimeCardView ユーザの有効化 \(P.18\)](#)
- [TimeCardView セッションの設定 \(P.21\)](#)
- [自動セッション ログアウトの設定 \(P.23\)](#)
- [セッションの表示とクリア \(P.25\)](#)
- [給与管理者特権の割り当て \(P.26\)](#)
- [上司の指定と従業員の割り当て \(P.28\)](#)
- [従業員の E ページアドレス設定 \(P.31\)](#)
- [週の開始曜日の設定 \(P.33\)](#)
- [就業時間と時間外就業時間の設定 \(P.35\)](#)
- [従業員ステータスの時間制限 \(P.37\)](#)
- [データベースのページ スケジュール設定と容量 \(P.40\)](#)
- [E メール通知の設定 \(P.42\)](#)
- [手動でのデータのページまたはクリア \(P.44\)](#)
- [タイムシートの外部 FTP サーバへのコピー \(P.46\)](#)
- [バックアップと復元 \(P.46\)](#)

TimeCardView 全体での有効化と無効化

Cisco NME-CUE 上では、インストールとアクティベーション後の TimeCardView の状態は全体的に無効になっています。

TimeCardView を有効にできる対象者は、Cisco Unity Express の登録者だけです。サービスを全体で有効にしてから、個々のユーザーに対して有効化します。この手順の説明については、[P.18 の「TimeCardView ユーザーの有効化」](#)を参照してください。

TimeCardView データベースをパージする前に、サービスを無効にする必要があります。サービス全体を無効にしたり、再度有効にしたりするには、次の手順に従ってください。

概略手順

EXEC モード :

1. **config t**
2. **service timecardview**
3. **enable**
または
no enable
4. **end**
5. **end**
6. **show timecardview configuration**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例： se-10-0-0-0# <code>config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例： se-10-0-0-0(config)# <code>service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	<code>enable</code> 例： se-10-0-0-0(service timecardview)# <code>enable</code> <code>no enable</code> 例： se-10-0-0-0(service timecardview)# <code>no enable</code>	TimeCardView を有効にします。 または TimeCardView を無効にします。
ステップ 4	<code>end</code> 例： se-10-0-0-0(service timecardview)# <code>end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 5	<code>end</code> 例： se-10-0-0-0(config)# <code>end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6	<code>show timecardview configuration</code> 例： se-10-0-0-0# <code>show timecardview configuration</code>	TimeCardView の設定を表示します。

例

次の例は、TimeCardView サービス全体を有効化する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# enable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday
```

```
Maximum Daily Working Duration (mins): 1440  
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0
```

```
Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440  
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440  
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440
```

```
Purge Cycle (days): 90  
Purge Days-to-Keep (days): 30  
Purge Time: 00:30
```

```
Notification Email(s):  
se-10-0-0-0#
```

TimeCardView 電話画面インターフェイスの無効化

デフォルトでは、TimeCardView はユーザに対して、ログインや、ある状態から次の状態への移行など、すべてのプロセスを案内するために電話画面のユーザ インターフェイスを提供します。

このサービスを無効にしたり、再度有効にしたりできます。

show run コマンドの出力が電話画面のユーザ インターフェイスが無効化されたかどうかを示します。



(注)

電話画面のユーザ インターフェイスを、電話ユーザ インターフェイス (TUI) と混同しないでください。前者は電話に表示され、後者は電話で聞くことができます。

概略手順

EXEC モード :

1. **config t**
2. **service timecardview**
3. **user-interface phone-service disable**
4. **end**
5. **end**
6. **show run**
7. **copy running-config startup-config**

詳細手順

EXEC モード:

	コマンドまたは操作	目的
ステップ1	<code>config t</code> 例: <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ2	<code>service timecardview</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ3	<code>user-interface phone-service disable</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config-timecardview)# user-interface phone-service disable</code>	TimeCardView 電話画面のユーザ インターフェイスを無効にします。
ステップ4	<code>end</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config-timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ5	<code>end</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ6	<code>show run</code> 例: <code>se-10-0-0-0# show run</code>	TimeCardView の実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ7	<code>copy running-config startup-config</code> 例: <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の出力は、TimeCardView の音声プロンプトを無効にする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# user-interface phone-service disable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show run
Generating configuration:

[...]
service timecardview
  daily overtime-duration minutes 90
  daily working-duration minutes 480
  enable
  user-interface phone-service disable
end timecardview

[...]
end

se-10-0-0-0# copy running-config startup-config
se-10-0-0-0#
```

TimeCardView 電話ユーザ インターフェイスの無効化

TimeCardView はユーザに対して、ログインや、ある状態から次の状態への移行など、すべてのプロセスを案内するために音声プロンプトを提供します。ただし、このサービスはデフォルトでは無効になっています。

このサービスの有効化または無効化を行うには、次のプロセスに従ってください。

show run コマンドの出力が電話ユーザ インターフェイスが無効化されたかどうかを示します。



(注)

電話ユーザ インターフェイス (TUI) を、電話画面のユーザ インターフェイスと混同しないでください。前者は電話で聞くことができ、後者は電話に表示されます。

概略手順

EXEC モード :

1. **config t**
2. **service timecardview**
3. **user-interface phone-call disable**
4. **end**
5. **end**
6. **show run**
7. **copy running-config startup-config**

詳細手順

EXEC モード :

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	<code>user-interface phone-call disable</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config-timecardview)# user-interface phone-call disable</code>	TimeCardView TUI (音声プロンプト) を無効にします。
ステップ 4	<code>end</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config-timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 5	<code>end</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6	<code>show run</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# show run</code>	TimeCardView の実行コンフィギュレーションを表示します。
ステップ 7	<code>copy running-config startup-config</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の出力は、TimeCardView の音声プロンプトを無効にする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# user-interface phone-call disable
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show run
Generating configuration:

[...]
service timecardview
  daily overtime-duration minutes 90
  daily working-duration minutes 480
  enable
  user-interface phone-call disable
end timecardview

[...]
end

se-10-0-0-0# copy running-config startup-config
se-10-0-0-0#
```

TimeCardView ユーザの有効化

TimeCardView サービスは、Cisco Unity Express に登録済みの個々のユーザに対して提供できます。言い換えると、TimeCardView を Cisco Unity Express ユーザに加えることができます。サービスを提供するには、この項で説明する手順に従ってユーザに属性を設定します。

また、TimeCardView サービスを提供するために Intuit QuickBooks から、TimeCardView GUI を使ってユーザをインポートすることもできます。この説明については、TimeCardView GUI ガイドまたはオンラインヘルプを参照してください。インポートされたユーザは自動的に有効にされています。



(注) 同名の従業員がいる場合は、QuickBooks とタイムシート データ同期を初めて実行するときに、TimeCardView から QuickBooks に同名の従業員を区別するための識別情報を渡されます。これを確認するには、QuickBooks で [Employees] > [Employee Center] とクリックし、2 人の従業員の名前を見ます。2 人目の従業員の名前には、文字列「{userxxxx}」が末尾に付加されます。xxxx は Cisco Unity Express の内線です (QuickBooks は他のデータを使って 2 人の従業員を区別するため、この識別情報を無視します)。



(注) QuickBooks を使って Cisco Unity Express 登録者を取得することもできます。TimeCardView GUI を利用して QuickBooks から従業員名をインポートし、Cisco Unity Express CLI で既存の登録者に内線を割り当てます。これらの登録者に TimeCardView サービスを提供しない場合には、個別にサービスを無効にする必要があります。

個別に TimeCardView サービスを無効にするには、**no timecardview username** コマンドを使います。

この手順に必要なデータ

TimeCardView 登録者の Cisco Unity Express サービスを有効にしたり、無効にしたりするには、次の情報が必要です。

- user-id : サービスをできるようにする登録者の Cisco Unity Express ユーザ名



(注) ユーザ名と user-id は大文字と小文字を区別します。

概略手順

EXEC モード :

1. **config t**
2. **timecardview username user-id**
3. **enable**
または
no enable
4. **end**
5. **end**
6. **show timecardview users**
7. **copy running-config startup-config**

詳細手順

EXEC モード :

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	config t 例 : se-10-0-0-0# config t	設定モードを開始します。
ステップ 2	timecardview username user-id 例 : se-10-0-0-0 (config-tvuser) # timecardview username theirname1	Cisco Unity Express 登録者を指定し、TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	enable 例 : se-10-0-0-0 (config-tvuser) # enable or no enable 例 : se-10-0-0-0 (config-tvuser) # no enable	指定したユーザ ID を持つ Cisco Unity Express 登録者の TimeCardView サービスを有効にします。 または 指定したユーザ ID を持つ Cisco Unity Express 登録者の TimeCardView サービスを無効にします。

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 4	end 例 : se-10-0-0-0(config-tvuser)# end	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 5	end 例 : se-10-0-0-0(config)# end	設定モードを終了します。
ステップ 6	show timecardview users 例 : se-10-0-0-0# show timecardview users	システム上に設定された TimeCardView ユーザの一覧とそれぞれのステータスを表示します。
ステップ 7	copy running-config startup-config 例 : se-10-0-0-0# copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の例は、指定したユーザの TimeCardView サービスを有効にする方法を示しています。

```

se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# timecardview username theirname1
se-10-0-0-0(config-tvuser)# enable
se-10-0-0-0(config-tvuser)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview users
theirname1 [Enabled]
1 total timecardview user(s)
se-10-0-0-0#

```

TimeCardView セッションの設定

TimeCardView で設定できるセッション数は 2 からプラットフォームで許可されるセッションの最大数までです。セッションのデフォルト数および最大数は、プラットフォームにより異なります。詳しくは、表 1 を参照してください。

表 1 プラットフォームごとのセッション数

プラットフォーム	セッションの最大数およびデフォルト数
Cisco 1861 サービス統合型ルータ	2
Cisco NME	8

概略手順

EXEC モード：

1. `config t`
2. `service timecardview`
3. `maxsessions number`
4. `end`
5. `end`
6. `show timecardview configuration`

詳細手順

コマンドまたは操作	目的
ステップ 1 <code>config t</code> 例： <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2 <code>service timecardview</code> 例： <code>se-10-0-0-0 (config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3 <code>maxsessions number</code> 例： <code>se-10-0-0-0 (service timecardview)# maxsessions 2</code>	セッションの最大数およびデフォルト数を指定します。有効範囲：2 からプラットフォームの最大値。 P.21 の表 1 を参照してください。
ステップ 4 <code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0 (service timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。

■ TimeCardView セッションの設定

コマンドまたは操作	目的
ステップ 5 <code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6 <code>show timecardview configuration</code> 例： <code>se-10-0-0-0# show timecardview configuration</code>	TimeCardView セッションの最大値を表示します。

例

次の出力は、TimeCardView セッションの最大値を設定するプロセスを示しています。

```
se-10-0-0-0#
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# maxsessions 2
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):
se-10-0-0-0#
```

自動セッション ログアウトの設定

IP 電話セッションは自動ログアウト時間を設定できます。TimeCardView ユーザが無期限にセッションを維持しないように、デフォルトでは1分が経過すると、ユーザは自動的にログアウトさせられます。上司の自動ログアウト時間は、従業員のログアウト時間と同じである必要はありません。

自動ログアウト時間を秒単位で設定します。範囲は、60～600秒（1～10分）です。

TimeCardView ユーザを作成するには [P.18](#) の「TimeCardView ユーザの有効化」を参照してください。

概略手順

EXEC モード：

1. **config t**
2. **service timecardview**
3. **session-expiry-time supervisor secs**
または
session-expiry-time employee secs
4. **end**
5. **end**
6. **show timecardview configuration**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例： <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	<code>session-expiry-time supervisor secs</code> 例： <code>se-10-0-0-0(service-timecardview)# session-expiry-time supervisor 600</code> or <code>session-expiry-time employee secs</code> 例： <code>se-10-0-0-0(service-timecardview)# session-expiry-time employee 120</code>	指定した上司または従業員が自動的にログアウトさせられるまでの時間を設定します。
ステップ 4	<code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0(service-timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 5	<code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6	<code>show timecardview configuration</code> 例： <code>se-10-0-0-0# show timecardview sessions</code>	上司と従業員のセッション ログアウト時間を表示します。

例

次の例は、自動セッション ログアウトを設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# service timecardview
se-10-0-0-0 (config-timecardview)# session-expiry-time supervisor 600
se-10-0-0-0 (config-timecardview)# session-expiry-time employee 120
se-10-0-0-0 (config-timecardview)# end
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 600
Employee Session logout time (secs): 120
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):
se-10-0-0-0#
```

セッションの表示とクリア

TimeCardView セッションは、任意のセッション、または現在実行中のすべてのセッションをクリアできます。次の手順では、最初にすべてのセッションを表示する方法、次に特定のセッションをクリアする方法、最後にすべてのセッションをクリアする方法を示しています。これらのコマンドは順不同です。また、任意のコマンドを省略できます。

概略手順

EXEC モード :

1. **show timecardview sessions**
2. **service timecardview session terminate user *user-id***
または
service timecardview session terminate all
3. **show timecardview sessions**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<pre>show timecardview sessions</pre> <p>例： se-10-0-0-0# <code>show timecardview sessions</code></p>	現在アクティブな TimeCardView セッションを表示します。
ステップ 2	<pre>service timecardview session terminate user userid</pre> <p>例： se-10-0-0-0# <code>service timecardview session terminate user theirname1</code></p> <p>or</p> <pre>service timecardview session terminate all</pre> <p>例： se-10-0-0-0# <code>service timecardview session terminate all</code></p>	指定したユーザのセッションを終了します。 または すべてのユーザのセッションを終了します。
ステップ 3	<pre>show timecardview sessions</pre> <p>例： se-10-0-0-0# <code>show timecardview sessions</code></p>	アクティブな TimeCardView セッションを表示します。

例

次の例は、セッションを表示し、すべてのセッションをクリアする方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# show timecardview sessions
theirname1,
theirname3.
se-10-0-0-0# service timecardview session terminate all
se-10-0-0-0# show timecardview sessions
No active sessions.
se-10-0-0-0#
```

給与管理者特権の割り当て

給与管理者特権を与えるグループを呼び出し、給与管理者のロールを割り当てます。

次に、指定した TimeCardView ユーザをこのグループに追加できます。TimeCardView システムに登録されていない人は給与管理者に指定できません。

この手順で必要なデータ

前述のタスクを実行するには、次の情報が必要です。

- 給与管理者となる従業員のユーザ名
 - グループのオーナー
 - グループのメンバー

概略手順

EXEC モード :

1. `config t`
2. `groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll`
3. `groupname tcv-payroll-specialists owner username`
4. `groupname tcv-payroll-specialists member username`
5. `end`
6. `show timecardview payroll-specialists`
7. `copy running-config startup-config`

詳細手順

EXEC モード :

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config)# groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll</code>	給与管理者特権を指定したグループに与えます。
ステップ 3	<code>groupname tcv-payroll-specialists owner username</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config)# groupname tcv-payroll-specialists owner theirname1</code>	グループを管理する TimeCardView ユーザを、給与管理者グループにオーナーとして追加します。オーナーは、1 つのグループにつき何人でも設定できます。
ステップ 4	<code>groupname tcv-payroll-specialists member username</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config)# groupname tcv-payroll-specialists member theirname2</code>	TimeCardView ユーザを給与管理者グループにメンバーとして追加します。 グループには複数のメンバーが所属できます。
ステップ 5	<code>end</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6	<code>copy running-config startup-config</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の例は、給与管理者特権を与える方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists privilege tcv-payroll
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists owner theirname1
se-10-0-0-0(config)# groupname tcv-payroll-specialists member theirname2
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0#
```

上司の指定と従業員の割り当て

上司を作成し、従業員を割り当てるには、次の手順に従います。

この手順では、初期状態の TimeCardView ユーザが、役割に応じて従業員や上司になります。



(注) `User-id` は大文字と小文字を区別します。

上司を指定した後で、従業員を上司に割り当てます。従業員は、直属上司および上司代理を持つことができます。特に指定しない限り、従業員に割り当てた上司が、その従業員の直属上司になります。割り当ては常に既存の割り当てを上書きしますので、既に直属上司との関係が設定されている場合には、その関係は消去されます。

まだ TimeCardView ユーザでない従業員や上司、または TimeCardView サービスが無効になっているユーザを指定すると、エラーメッセージが表示されます。

従業員を、上司として指定されていないユーザに割り当てると、エラーメッセージが表示されます。従業員をその従業員の上司にすると、エラーメッセージが表示されます。特定の従業員を特定の上司に割り当てることで上下関係の循環が生じる場合には、エラーメッセージが表示されます。



(注) `no username user-id supervisor designate` コマンドを使用すると、ユーザから上司の役割が解除され、直属の部下との関係が解消されます。



(注) `no username employee-id supervisor username supervisor-id [primary | alternate]` コマンドを使用すると、指定した従業員が指定した上司の直属の部下リストから削除されます。

この手順に必要なデータ

- 上司になる従業員のユーザ名
- それぞれの上司に割り当てる従業員のユーザ名

概略手順

EXEC モード :

1. `config t`
2. `username user-id supervisor designate`
3. `username employee-id supervisor username supervisor-id alternate`
4. `end`
5. `show supervisors`
6. `show supervisor supervisor-id all`
7. `show supervisor supervisor-id direct`
8. `show user supervisor username employee-id all`
9. `show user supervisor username employee-id alternate`
10. `copy running-config startup-config`

詳細手順

EXEC モード :

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例 : se-10-0-0-0# <code>config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>username user-id supervisor designate</code> 例 : se-10-0-0-0 (config)# <code>username theirname4 supervisor designate</code>	上司を作成します。
ステップ 3	<code>username employee-id supervisor username supervisor-id alternate</code> 例 : se-10-0-0-0 (config)# <code>username theirname40 supervisor username theirname4</code>	指定した従業員を、指定した上司代理の部下に割り当てます。キーワードに「 alternate 」を指定しないと、デフォルトでこの上司は直属上司となります。
ステップ 4	<code>end</code> 例 : se-10-0-0-0 (config)# <code>end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 5	<code>show supervisors</code> 例 : se-10-0-0-0# <code>show supervisors</code>	全上司の一覧を表示します。

■ 上司の指定と従業員の割り当て

コマンドまたは操作	目的
ステップ 6 <code>show supervisor supervisor-id all</code> 例: <code>se-10-0-0-0# show supervisor theirname4 all</code>	指定した上司の部下である全従業員の一覧を表示します。
ステップ 7 <code>show supervisor supervisor-id direct</code> 例: <code>se-10-0-0-0# show supervisor theirname4 all</code>	指定した上司の直属部下である全従業員の一覧を表示します。
ステップ 8 <code>show user supervisor username employee-id all</code> 例: <code>se-10-0-0-0# show user supervisor theirname40 all</code>	指定した従業員の、直属上司と上司代理を含む上司を表示します。
ステップ 9 <code>show user supervisor username employee-id alternate</code> 例: <code>se-10-0-0-0# show user supervisor username theirname40 alternate</code>	指定した従業員の上司代理を表示します。直属上司を表示するには、「 alternate 」の代わりに「 primary 」をキーワードに使用します。
ステップ 10 <code>copy running-config startup-config</code> 例: <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の例は、2 人の従業員、その上司、および上司の上司を作成して確認する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# username Juser20 supervisor designate
se-10-0-0-0 (config)# username Juser200 supervisor designate
se-10-0-0-0 (config)# username Juser10 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0 (config)# username Juser11 supervisor username Juser20
se-10-0-0-0 (config)# username Juser20 supervisor username Juser200
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0 # show supervisors
Juser20
Juser200
2 total supervisor(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser20
Juser10
Juser11

2 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show supervisor Juser200
Juser10
Juser11
Juser20
3 total employee(s)
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser11
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser10
Juser20
se-10-0-0-0 # show user supervisor username Juser20
Juser200
se-10-0-0-0 #
```

従業員の E ページアドレス設定

上司が部下の従業員にテキストメッセージを送信できるようにするには、その従業員に E ページアドレスを設定する必要があります。

従業員に E ページアドレスを設定されていない場合、上司が部下にテキストメッセージを送ろうとすると E ページアドレスが空であることを伝えるエラーメッセージが表示されます。

キーワード **epage** の引数 *string* は RFC-2822 準拠の E メールアドレスです。例：name@company.com

概略手順

EXEC モード：

1. **config t**
2. **username user-id epage string**
3. **end**
4. **show user detail username user-id**

詳細手順

EXEC モード :

	コマンドまたは操作	目的
ステップ1	<code>config t</code> 例： <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ2	<code>username user-id epage string</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# username theirname4 epage theirname4@company.com</code>	指定した従業員の E ページアドレスを設定します。
ステップ3	<code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ4	<code>show user detail username user-id</code> 例： <code>se-10-0-0-0# show user detail username theirname4</code>	指定した従業員の詳細、特に E ページアドレスを表示します。

例

次の出力は、上司からのテキストメッセージ送信ができるように、従業員の E ページアドレスを設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# username Theirname1 epage sample@company.com
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show user detail username Theirname1
Username:          Theirname1
Full Name:         Sample Theirname
First Name:        Sample
Last Name:         Theirname
Nickname:          Theirname1
Phone:
Phone (E.164):
Fax:
Email:
Epage:             sample@company.com
Language:          systemDefault
GroupMember:       <none>
GroupOwner:        <none>
Privileges:        <none>
se-10-0-0-0#
```

週の開始曜日の設定

デフォルトでは、週の始まりは月曜日に設定されています。次の手順に従って、他の曜日に設定することができます。曜日を表す変数は次の数字です。

- 1 - 月曜日
- 2 - 火曜日
- 3 - 水曜日
- 4 - 木曜日
- 5 - 金曜日
- 6 - 土曜日
- 7 - 日曜日

概略手順

EXEC モード :

1. **config t**
2. **service timecardview**
3. **week-start day 1-7**
4. **end**
5. **end**
6. **show timecardview configuration**
7. **copy running-config startup-config**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	config t 例 : se-10-0-0-0# config t	設定モードを開始します。
ステップ 2	service timecardview 例 : se-10-0-0-0(config)# service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	week-start day 1-7 例 : se-10-0-0-0(timecardview-config)# week-start day 3	週の始まりとなる曜日を設定します。
ステップ 4	end 例 : se-10-0-0-0(config-timecardview)# end	TimeCardView 設定モードを終了します。

■ 週の開始曜日の設定

コマンドまたは操作	目的
ステップ 5 <code>end</code> 例 : <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6 <code>show timecardview configuration</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# show timecardview configuration</code>	週の始まりの曜日を表示します。パラメータを設定してない場合、システムはデフォルトである月曜日を表示します。
ステップ 7 <code>copy running-config startup-config</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の出力は、就業開始の曜日を週の始めに設定するプロセスを示しています。

```

se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# week-start day 3
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Wednesday

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):
se-10-0-0-0#

```

就業時間と時間外就業時間の設定

従業員の 1 日あたりの標準就業時間と時間外就業時間を制限できます。

制限時間に達する前に従業員が（ある状態から他の状態に）ステータスを変更しないと、その従業員のステータスはロックされ、たとえば、新しいシフトを開始するためにステータスを変更することは従業員自身ではできなくなります。上司だけがその従業員のアカウントのロック解除とステータス変更を行います。これを実行するには、上司は TimeCardView TUI を使います。

TimeCardView ユーザの標準就業時間と時間外就業時間の積算時間の合計は 1440 分（24 時間）を超えることはできません。

デフォルトでは、TimeCardView ユーザは 1 日あたり最大 1440 分の標準就業時間を積算できますが、時間外就業時間はゼロとなっています。したがって、いずれのパラメータも設定しないと、従業員は 1 日に最大 24 時間就業でき、その時間はすべて標準就業時間として記録されます。

従業員の標準就業時間を（設定可能範囲は 1 ～ 24 時間）制限して、時間外就業時間をゼロ（設定可能範囲は 0 ～ 24 時間）に制限した場合には、従業員は時間外就業時間を積算できません。

1 日の就業時間は分単位で設定します。デフォルトを設定することで、以前の設定を取り消せます。これには、daily コマンドで default または no を使います。[no | default] daily [working-duration | overtime-duration] minutes number.

概略手順

EXEC モード：

1. `config t`
2. `service timecardview`
3. `daily working-duration minutes 1-1440`
4. `daily overtime-duration minutes 0-1440`
5. `end`
6. `end`
7. `show timecardview configuration`
8. `copy running-config startup-config`

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例： <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例： <code>se-10-0-0-0 (config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。

コマンドまたは操作	目的
ステップ 3 <code>daily working-duration minutes number</code> 例: <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# daily working-duration minutes 480</code>	従業員が 1 日に就業できる最大時間を分単位で設定します。範囲：1 ～ 1440、デフォルト 1440。
ステップ 4 <code>daily overtime-duration minutes number</code> 例: <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# daily overtime-duration minutes 90</code>	従業員が 1 日に就業できる時間外就業時間の最大値を分単位で設定します。範囲：0 ～ 1440、デフォルト 0。デフォルトを変更した場合、標準就業時間を制限する設定を忘れないようにしてください。標準就業時間を制限しないと、従業員は時間外就業時間を積算できません。
ステップ 5 <code>end</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config-timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 6 <code>end</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config)# exit</code>	設定モードを終了します。
ステップ 7 <code>show timecardview configuration</code> 例: <code>se-10-0-0-0# show timecardview configuration</code>	従業員が働ける最長の標準就業時間と時間外就業時間を表示します。
ステップ 8 <code>copy running-config startup-config</code> 例: <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の出力は、就業時間と時間外就業時間の設定プロセスを示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# daily working-duration minutes 480
se-10-0-0-0(config-timecardview)# daily overtime-duration minutes 90
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 480
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 90

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):
se-10-0-0-0# copy running-config startup-config
se-10-0-0-0#
```

従業員ステータスの時間制限

従業員は TimeCardView にログインすると、ステータスを次のいずれかに設定できます。

- 就業
- 昼食
- 休憩

従業員が各状態で費やすことができる時間を制限できます。従業員が 1 日に費やすことができる最大時間は、いずれの状態に対しても 24 時間 (1440 分) です。これらのパラメータを変更しない場合、従業員は合計で 1 日あたり 24 時間になるように 3 つの状態を任意に組み合わせることができます。

24 時間または設定した制限時間のいずれか短い方の時間が経過しても状態が変化しなかったユーザは、自動的にログアウトされます。

概略手順

EXEC モード :

1. `config t`
2. `service timecardview`
3. `shift limit work-duration minutes 1-1440`
4. `shift limit lunch-duration minutes 1-1440`
5. `shift limit break-duration minutes 1-1440`
6. `end`
7. `end`
8. `show timecardview configuration`
9. `copy running-config startup-config`

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例： <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	<code>shift limit work-duration minutes number</code> 例： <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# shift limit work-duration minutes 480</code>	従業員が勤務状態を維持できる時間を分単位で制限します。範囲：1 ~ 1440、デフォルト 1440。
ステップ 4	<code>shift limit lunch-duration minutes number</code> 例： <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# shift limit lunch-duration minutes 60</code>	従業員が昼食状態を維持できる時間を分単位で制限します。範囲：1 ~ 1440、デフォルト 1440。
ステップ 5	<code>shift limit break-duration minutes number</code> 例： <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# shift limit break-duration minutes 40</code>	従業員が休憩状態を維持できる時間を分単位で制限します。範囲：1 ~ 1440、デフォルト 1440。
ステップ 6	<code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config-timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。

コマンドまたは操作	目的
ステップ7 <code>end</code> 例 : <code>se-10-0-0-0 (config)# exit</code>	設定モードを終了します。
ステップ8 <code>show timecardview configuration</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# show timecardview configuration</code>	従業員が任意の状態を維持することの最大時間を表示します。これらのパラメータを設定していない場合、デフォルトが表示されます。
ステップ9 <code>copy running-config startup-config</code> 例 : <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の出力は、従業員ステータスの時間制限を設定するプロセスを示しています。

```

se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# shift limit work-duration minutes 480
se-10-0-0-0(config-timecardview)# shift limit lunch-duration minutes 60
se-10-0-0-0(config-timecardview)# shift limit break-duration minutes 40
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 600
Employee Session logout time (secs): 120
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0

Maximum In-Shift Break Time (mins): 40
Maximum In-Shift Work Time (mins): 480
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 60

Payroll Server Type: QuickBooks
Quickbooks Server Address: 192.0.2.3
Quickbooks Server Port: 57343
Synchronization Schedule: Daily
Sync Transfer Mode: All Timesheets
Sync Time: 21:00

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 21:30

Notification Email(s):

se-10-0-0-0# copy running-config startup-config
se-10-0-0-0#

```

データベースのページスケジュール設定と容量

データベースのページスケジュールを設定しない場合、最大容量を超えた時に TimeCardView でページが自動的に実行されます。実行されるページは単純なデータの廃棄ではありません。システムは、できる限り最新のデータをできる限り多く保存するように設定されています。次に説明する設計ガイドラインは、システムの動作を定めています。

データ保持日数を指定することで、古いデータを廃棄し、最新のデータだけを維持するように設定できます。

指定した間隔でデータベースのページを行うようにスケジュールを設定できます。ただし、設定されたスケジュールでページが行われる前にデータベースがいっぱいになると、次のガイドラインに従ってデータベースのページが行われます。

データベース設計に関するガイドライン

システムは、毎日午後 11 時 30 分にデータベースをチェックします。E メールによる通知を送信するよう TimeCardView を設定した場合 (P.42 の「E メール通知の設定」を参照してください)、データベースの使用率が 70% に達すると通知が送信され、さらに使用率が 80% に達した時と、85% に達した時にも通知の送信がされます。そのままデータベースの使用率が 90% に達すると、レコードの古い方から 70% 分は削除され、新しい方の 20% 分が保持されます。このため、このタイプのページが行われても、少なくとも 1 か月の最新データが確実に残ります。

データベースのページや同期の日程と時刻の設定については、**show timecardview configuration** コマンドを使っていつでも表示できます。



(注)

TimeCardView データは手動によるページも可能です。この説明については、P.44 の「手動でのデータのページまたはクリア」を参照してください。

概略手順

EXEC モード :

1. **config t**
2. **service timecardview**
3. **database purge schedule days *number* days-to-keep *number***
4. **end**
5. **end**
6. **show timecardview configuration**
7. **copy running-config startup-config**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例： <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	<code>database purge schedule days number days-to-keep number</code> 例： <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# database purge schedule days 90 days-to-keep 30</code>	ページの実施間隔と、データの最低保持期間を、どちらも日数で指定します。
ステップ 4	<code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config-timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 5	<code>end</code> 例： <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6	<code>show timecardview configuration</code> 例： <code>se-10-0-0-0# show timecardview configuration</code>	ページの実施間隔と、データの最低保持期間を、どちらも日数で表示します。
ステップ 7	<code>copy running-config startup-config</code> 例： <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の例は、ページ実施間隔（日数）およびデータの最低保持日数を設定する方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# database schedule days 90 days-to-keep 30
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 480
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 90

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):
se-10-0-0-0#
```

E メール通知の設定

データベースの利用率がしきい値に達した場合（P.40の「データベース設計に関するガイドライン」を参照してください）やデータベースのページが発生した場合に、指定したEメール受信者にTimeCardViewが自動的に通知するように設定できます。通知の受信者のEメールアドレスを設定するには、次の手順に従ってください。複数のアドレスをカンマで区切って指定できます。システムの制限文字数は（カンマを含めて）64です。

この手順で必要なデータ

上記のタスクを実行するには、次の情報が必要です。

- データベースのページについて通知を受ける受信者のEメールアドレス

概略手順

EXEC モード：

1. **config t**
2. **service timecardview**
3. **notification email address *email-address***
4. **end**
5. **end**
6. **show timecardview configuration**
7. **copy running-config startup-config**

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	config t 例： se-10-0-0-0# config t	設定モードを開始します。
ステップ 2	service timecardview 例： se-10-0-0-0(config)# service timecardview	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	notification email address <i>email-address</i> 例： se-10-0-0-0(timecardview-config)# notification email address user1@example.com,supervisor1@example.com	通知 E メールを受信者の E メールアドレスを指定します。複数の E メールアドレスをカンマで区切って指定できます。ただし、64 文字の文字数制限があります（カンマを含む）。
ステップ 4	end 例： se-10-0-0-0(config-timecardview)# end	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 5	end 例： se-10-0-0-0(config)# end	設定モードを終了します。
ステップ 6	show timecardview configuration 例： se-10-0-0-0# show timecardview configuration	通知が送付される宛先の E メールアドレスを表示します。
ステップ 7	copy running-config startup-config 例： se-10-0-0-0# copy running-config startup-config	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の例は、TimeCardView データベースのページを指定した宛先に E メールで通知する設定方法を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# notification email address
user1@example.com,supervisor1@example.com,payroll-specialist1@example.com
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 480
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 90

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):

user1@example.com,supervisor1@example.com,payroll-specialist1@example.com

se-10-0-0-0#
```

手動でのデータのページまたはクリア

TimeCardView データベースの全レコードを削除する一方で、設定データはすべて残して、使用中のスキーマを維持することができます。ページ処理には時間がかかる可能性があるため、このタスクはバックグラウンドで実行されます。ページの進捗状況を確認するには、**show timecardview status** コマンドを使用します。

ページを実行する前に TimeCardView サービスを無効にする必要があります (P.12 の「TimeCardView 全体での有効化と無効化」を参照してください)。

データをクリアするコマンドを入力すると、実行前に警告メッセージが表示されます。ページを続行するには、この警告メッセージに対して確認をする必要があります。ページが完了すると、リソースの使用状況はゼロに設定されます。

概略手順

Cisco Unity ExpressEXEC モード :

1. **service timecardview purge now**
2. **y**
3. **show timecardview status**

詳細手順

Cisco Unity ExpressEXEC モード :

-
- ステップ 1** **service timecardview purge now** と入力します。
警告メッセージが表示されます。
- ステップ 2** **y** を入力して警告メッセージを確認するか、**n** と入力してページ操作を中断します。
- ステップ 3** **show timecardview status** と入力します。
-

例

次の出力は、TimeCardView サービスを無効にし、次にデータベースをページする例を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line.  End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0 (config)# service timecardview
se-10-0-0-0 (config-timecardview)# no enable
se-10-0-0-0 (config-timecardview)# end
se-10-0-0-0 (config)# end
se-10-0-0-0# service timecardview purge now
!!!WARNING!!!: This will *COMPLETELY ERASE* timecardview historical records. It is highly
recommended to backup timecardview before executing this command since it is
irreversible.
Are you sure you want to Purge? (y/n) [n]: y
Purge started successfully. Please check its status later.
se-10-0-0-0# show timecardview status
Service: Disabled
Active Sessions: 0

DB Status: IDLE
DB Usage: 0
Last Purge (04/12/2008 18:06:43):
Payroll Sync Status (dd/MM/yyyy HH:mm:ss):
se-10-0-0-0#
```

タイムシートの外部 FTP サーバへのコピー

タイムシート レコードは外部 FTP サーバにコピーできます。TimeCardView はレコードをカンマ区切り形式 (CSV) に変換し、プレーンテキスト ファイルに保存します。ファイル名と URL を指定します。例: ftp:ftp.nowhere.com/dir/filename

copy timecardview timesheets url *URL* username *name* password *password*

コマンドを入力すると、転送ステータスが表示されます。



(注) CSV ファイルを再び TimeCardView に戻すことはできません。

この CSV ファイルをカスタマイズして新しい種類のタイムシート レポートを作成できます。ファイルには、次のフィールドがあります。

- 従業員の user-id
- 就業日
- 就業時間 (hh:mm:ss)
- 昼食時間 (hh:mm:ss)
- 休憩時間 (hh:mm:ss)
- 時間外就業時間 (hh:mm:ss)
- 承認
- 承認日時
- 承認者の user-id
- 修正日時
- 備考
- 同期

バックアップと復元

Cisco Unity Express のバックアップ機能を利用することで、TimeCardView のバックアップと復元ができます。Cisco Unity Express の **backup category all** コマンドは、Cisco Unity Express オフラインモードで他のすべてのデータに加えてタイムシートもバックアップします。

TimeCardView の設定は Cisco Unity Express の他の設定データとともにバックアップと復元が行われることで、両者の設定の同期が取られます。バックアップ履歴は、Cisco Unity Express と同じスキーマに従って保存されます。これについてのより詳細な情報は、ご使用のバージョンの *Cisco Unity Express CLI Administrator Guide* を参照してください。



(注) 勤務シフト中は、バックアップや復元の実行を避けてください。実行しようすると警告メッセージが表示され、確認しなければ継続できません。継続を選択した場合には、バックアップの時点で「就業」の状態にある TimeCardView ユーザは、バックアップ ファイル中ではすべて「ロック」状態に変更されます。このバックアップ ファイルが復元プロセスに使われた場合は、上司が正しい日付と時刻情報でロックされたステータスを上書きする必要があります。

復元を実行し、TimeCardView で旧データと現在収集されているデータの間に不一致が見つかった場合には、現状のシフト情報を維持するために全ユーザの現行シフト活動が復元したデータにアペンドされます。言い換えると、復元プロセスでは既に記録されているタイムシート データは上書きされません。

データの転送に SSL 接続を利用したり、バックアップ ファイルを暗号化したりすることで、バックアップをセキュリティ保護できます。



Intuit QuickBooks との統合

QuickBooks との統合はオプションです。

この章の構成

- [TimeCardView と QuickBooks 間の通信設定 \(P.49\)](#)
- [QuickBooks との手動同期 \(P.51\)](#)

TimeCardView と QuickBooks 間の通信設定

タイムシートデータを QuickBooks にエクスポートするには、システムで QuickBooks サーバの特定のファイルにアクセスできる必要があります。TimeCardView 側では、QuickBooks サーバの DNS 名または IP アドレスを指定する必要があります。デフォルトでは、TCVQBConnector はポート番号 57343 を使用して Cisco Unity Express からの要求を処理します。TCVQB-Connector でデフォルト以外のポート番号を使用する場合だけ、ポート番号を設定する必要があります。

[Intuit QuickBooks における TimeCardView 用の自動ログインの設定 \(P.8\)](#) で参照した QuickBooks の TimeCardView アクセス権の設定を行い、次の手順をすべて行った後、2 つのアプリケーションが正しく通信しているかどうかを確認してください。これを行うには、ログを参照します。通知領域の TCVQB-Connector アイコンを右クリックして、View Log オプションを選択します。

概略手順

EXEC モード :

1. `config t`
2. `service timecardview`
3. `payroll server quickbooks address address port number`
4. `end`
5. `end`
6. `show timecardview configuration`
7. `copy running-config startup-config`

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例: <code>se-10-0-0-0# config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config)# service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。
ステップ 3	<code>payroll server quickbooks address address port number</code> 例: <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# payroll server quickbooks address 192.0.2.3 port 7</code>	TimeCardView に対して QuickBooks の給与管理サーバを指定します。address 変数は、DNS 名または IP アドレスです。ポート番号は、TCVQUB-Connector でデフォルトの 57343 以外のポート番号を使用する場合に必要です。
ステップ 4	<code>end</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config-timecardview)# end</code>	TimeCardView 設定モードを終了します。
ステップ 5	<code>end</code> 例: <code>se-10-0-0-0(config)# end</code>	設定モードを終了します。
ステップ 6	<code>show timecardview configuration</code> 例: <code>se-10-0-0-0# show timecardview configuration</code>	給与管理サーバの設定および関連情報を表示します。
ステップ 7	<code>copy running-config startup-config</code> 例: <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code>	コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。

例

次の例は、QuickBooks の給与管理サーバのパラメータの設定を示しています。

```
se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# payroll server quickbooks address 192.0.2.3 port 7
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Enabled

Maximum Sessions: 2
Supervisor Session logout time (secs): 60
```

```

Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

Maximum Daily Working Duration (mins): 480
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 90

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1440

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time: 00:30

Notification Email(s):
se-10-0-0-0#

```

QuickBooks との手動同期

TimeCardView と QuickBooks の同期には、承認済みのタイムシートだけを転送する方法と、すべてのタイムシートを転送する方法があります。デフォルトの動作はすべてのタイムシートの転送です。

TimeCardView で転送が行えないと、「Timesheets in an invalid URL.Please try again.」というエラーメッセージが表示されます。このメッセージは、QuickBooks サーバに指定した IP アドレスまたは DNS 名が間違っているか、または QuickBooks の管理者が TimeCardView を [P.49 の「TimeCardView と QuickBooks 間の通信設定」](#) で説明している正しいアクセス特権でセットアップしていないことを示しています。

概略手順

EXEC モード :

1. `service timecardview synchronize now timesheets approved`
2. `show timecardview status`

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<pre>service timecardview synchronize now timesheets approved</pre> <p>例 :</p> <pre>se-10-0-0-0# service timecardview synchronize now timesheets approved</pre>	TimeCardView データを QuickBooks に転送します。オプションとして、承認済みのタイムシートだけを転送するように指定できます。
ステップ 2	<pre>show timecardview status</pre> <p>例 :</p> <pre>se-10-0-0-0# show timecardview status</pre>	最後に同期が実行された時刻と日付を表示します。

例

```

se-10-0-0-0# service timecardview synchronize now timesheets approved
se-10-0-0-0# show timecardview status
Service: Enabled
Active Sessions: 0

DB Status: IDLE
DB Usage: 0
Last Purge (dd/MM/yyyy HH:mm:ss):
Payroll Sync Status (04/12/2008 18:06:43):
se-10-0-0-0#

```

QuickBooks との同期のスケジュール

毎日または毎週、特定の曜日、および時刻を指定して、TimeCardView と QuickBooks との同期のスケジュールを設定できます。また、すべてのタイムシートを転送するか、または承認済みのものだけを転送するかを指定することもできます。

概略手順

EXEC モード :

1. `config t`
2. `service timecardview`
3. `payroll server synchronization schedule weekly day 7 time 22:00 timesheets all`
4. `end`
5. `end`
6. `show timecardview configuration`
7. `copy running-config startup-config`

詳細手順

	コマンドまたは操作	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例 : se-10-0-0-0# <code>config t</code>	設定モードを開始します。
ステップ 2	<code>service timecardview</code> 例 : se-10-0-0-0(config)# <code>service timecardview</code>	TimeCardView 設定モードを開始します。

コマンドまたは操作	目的
<p>ステップ 3 <code>payroll server synchronization schedule weekly day 1-7 time hh:mm timesheets all</code></p> <p>例 : <code>se-10-0-0-0(timecardview-config)# payroll server synchronization schedule weekly day 7 time 22:00 timesheets all</code></p>	<p>日単位または週単位での同期スケジュールを設定します。日単位のスケジュールを設定する場合は、24時間制で指定する必要があります。また、週単位のスケジュールを設定する場合は、曜日を指定する必要があります。</p> <p>1 = 月曜日 2 = 火曜日 3 = 水曜日 4 = 木曜日 5 = 金曜日 6 = 土曜日 7 = 日曜日</p> <p>timesheets には all または approved を指定する必要があります。</p>
<p>ステップ 4 <code>end</code></p> <p>例 : <code>se-10-0-0-0(config-timecardview)# end</code></p>	<p>TimeCardView 設定モードを終了します。</p>
<p>ステップ 5 <code>end</code></p> <p>例 : <code>se-10-0-0-0(config)# end</code></p>	<p>設定モードを終了します。</p>
<p>ステップ 6 <code>show timecardview configuration</code></p> <p>例 : <code>se-10-0-0-0# show timecardview configuration</code></p>	<p>同期スケジュールを表示します。</p>
<p>ステップ 7 <code>copy running-config startup-config</code></p> <p>例 : <code>se-10-0-0-0# copy running-config startup-config</code></p>	<p>コンフィギュレーションの変更部分をスタートアップのコンフィギュレーション ファイルにコピーします。</p>

例

次の出力は、QuickBooks の給与管理サーバの同期スケジュールの設定を示しています。

```

se-10-0-0-0# config t
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
se-10-0-0-0(config)# service timecardview
se-10-0-0-0(config-timecardview)# payroll server synchronization schedule weekly day 7
time 22:00 timesheets all
se-10-0-0-0(config-timecardview)# end
se-10-0-0-0(config)# end
se-10-0-0-0# show timecardview configuration
Service: Enabled
Phone-call User Interface: Disabled

Maximum Sessions: 0
Supervisor Session logout time (secs): 60
Employee Session logout time (secs): 60
Week Start Day: Monday

```

■ QuickBooks との同期のスケジュール

Maximum Daily Working Duration (mins): 1440
Maximum Daily Overtime Duration (mins): 0

Maximum In-Shift Break Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Work Time (mins): 1440
Maximum In-Shift Lunch Time (mins): 1300

Payroll Server Type: QuickBooks
Quickbooks Server Address: qbserver
Quickbooks Server Port: 57343
Synchronization Schedule: Weekly
Sync Transfer Mode: All Timesheets
Sync Day: Saturday
Sync Time (HH:MM 24 hour): 22:00

Purge Cycle (days): 90
Purge Days-to-Keep (days): 30
Purge Time (HH:MM 24 hour): 00:30

Notification Email(s): name@company.com
se-10-0-0-0



INDEX

C

Cisco IP Phone のインターフェイス [2](#)

E

enable コマンド [12](#)

E ページ [2](#)

I

IP

電話インターフェイス [2](#)

IP 電話セッション、自動ログアウト [23](#)

S

Services ボタン (Cisco IP Phone) [2](#)

service timecardview コマンド [12](#)

show timecardview configuration コマンド [12](#)

show timecardview status コマンド [40, 44](#)

SSL 接続 [47](#)

status

show timecardview コマンド [40, 44](#)

T

timecardview username user-id [19](#)

timecardview username コマンド [19](#)

TimeCardView ユーザ

削除 [2](#)

追加 [2](#)

U

user-interface phone-call コマンド [16](#)

user-interface phone-service disable コマンド [14](#)

あ

アクセス [2](#)

暗号化 [47](#)

い

インターフェイス

Cisco IP Phone [2](#)

お

オフライン モード [46](#)

か

関係、部下との [28](#)

き

既存の上司との関係 [28](#)

休憩状態 [2](#)

勤務状態 [2](#)

こ

個別に無効化、TimeCardView [18](#)

コマンド

enable [12](#)
 service timecardview [12](#)
 show timecardview configuration [12](#)
 show timecardview status [40, 44](#)
 timecardview username [19](#)
 user-interface phone-call [16](#)
 user-interface phone-service disable [14](#)

さ

最長

就業時間、超過 [2](#)

削除

TimeCardView ユーザ [2](#)

上司 [28](#)

上司のリストから従業員を [28](#)

直属の部下 [28](#)

作成、上司の [28](#)

し

時間、セッション ログアウト [24](#)

自動

IP 電話セッション ログアウト時間 [23](#)

セッション ログアウト [23](#)

シフト

状態 [2](#)

従業員

状態 [2](#)

就業時間、最長時間の超過 [2](#)

終了時間の記録 [2](#)

上司

既存の関係 [28](#)

削除 [28](#)

作成 [28](#)

従業員の削除 [28](#)

代理 [28](#)

直属 [28](#)

状態

休憩 [2](#)

勤務 [2](#)

シフト [2](#)

従業員 [2](#)

昼食 [2](#)

す

ステータス

データ転送 [46](#)

せ

セキュリティ、バックアップおよび復元 [47](#)

セッション ログアウト時間 [24](#)

セッション ログアウト、自動 [23](#)

接続、SSL [47](#)

た

代理、上司 [28](#)

ち

昼食状態 [2](#)

超過、最長就業時間 [2](#)

直属上司 [28](#)

直属の部下、削除 [28](#)

つ

追加、TimeCardView ユーザ [2](#)

て

データ転送ステータス [46](#)

は

- パスワード [2](#)
- バックアップ
 - 暗号化 [47](#)
 - セキュリティ [47](#)

ふ

- 部下との関係 [28](#)
- 復元、セキュリティ [47](#)

ほ

- ボイス メッセージ [2](#)
- ボタン
 - Services (Cisco IP Phone) [2](#)

む

- 無効化、個別に TimeCardView サービスを [18](#)

め

- メッセージ、ボイス [2](#)

も

- モード、オフライン [46](#)

ろ

- ログアウト時間、セッション [24](#)
- ログアウト、自動 IP 電話セッション [23](#)
- ロックアウト [2](#)

